



漢

古今泉貨鑑

說論

十八



泉貨鑑卷之十八

未見之品

古文錢

寶貨

周ノ景王ノ大錢

對文半兩

前漢

半王錢

前漢半兩ノ鏹
英錢ノ類ナリ

赤側五銖

前漢

對文五銖

不知品
梁代用ユ

當兩五銖

宋文帝

英錢半兩

前漢半兩ノ鏹
誤テ漢興ト云

傳形半兩

前漢

三銖錢

前漢武帝
建元元年

左右五銖

不知品
兩面也

五金錢

五銖ノ鏹也
推泉ノ類

公式女錢

梁武帝
天監元年



女錢五銖

梁武帝

四柱五銖

梁敬帝
太平二年

雞目五銖

西魏文帝
內郭九

沈郎青錢

事林二曰也
五銖ノ小也

傳形貨泉

新王莽
天鳳元年

貨泉大錢

徑一寸四分
重二十四銖

小泉直十

王莽

么泉一十

同

幼泉二十

同

中泉三十

同

壯泉四十

同

直百錢

蜀照列帝

直百五銖

蜀照列帝

大泉五百

吳太帝
嘉禾五年

大泉當千

吳太帝
赤鳥元年

豐貨錢

後趙石勒

漢興錢

蜀成李壽
漢興元年

四銖錢

宋文帝
元嘉七年

孝建錢

宋武帝
孝建元年

二銖錢

宋前廢帝
大明七年

永光錢

宋中廢帝
永光元年

景和錢

宋中廢帝
景和元年

鵝眼錢

宋中廢帝
文小泉直一

大通五銖

梁武帝
普通四年

大吉五銖

梁武帝
普通四年

大富五銖

同

大平百錢

梁代通行

定平一百

梁代通行

大和五銖

後魏高祖
大和十九年

百爐錢

西魏大統七年
面永安背四道

布泉

後周武帝
保定元年

永通萬國

後周宣帝
大象元年

平當五銖

不知品

大泉五銖

不知品

大泉二十

同

大元貨泉

同

通行泉寶

同背文爪

𠄎

古ノ神字
泉志ニ巨ニ作

兩齋

神冊ト云
詳ナラズ

𠄎

冊

遠神冊年鑄ト
詳ナラズ

續銖

不知品

百當千千當萬

晉泰始中
掘得タリ

兩銖

同

君宜侯王五銖

不知品

刀布類

小布

新王莽

幺布

新王莽

幼布

新王莽

厚布

同

差布

同

中布

同

壯布

同

第布

同

次布

同

大布

同

契刀五百

同

一刀平五泉

同

大黃布刀

同

此外ニ於テ白金ニ品及ヒ泉志ニ載スル異布甚多シ其文字形製ノ考ヘ合スベキ者ナキ類ハコレヲ略ス

平錢

開元大錢

唐ノ德宗

建中通寶

唐ノ德宗

咸通玄寶

唐ノ懿宗

得壹元寶

燕ノ史思明

順天元寶

燕ノ史思明

保大元寶

江ノ王李景

天成元寶

後唐莊宗

永通泉貨

南唐李昪

永平元寶

前蜀王建

天策府寶

楚馬殷

乾封大錢

楚馬殷

開元鐵大錢

閩審知

永隆通寶

閩延義王

天德通寶

閩延政王

天德重寶

閩延政王

應天元寶

幽州劉守光

皇祐元寶

北宋仁宗

至和重寶

北宋仁宗

乾亨通寶

遼景宗

太平元寶

遼聖宗

壽隆元寶

遼道宗

建炎重寶

南宋高宗

淳熙通寶

南宋孝宗

嘉定當五

南宋寧宗

阜昌重寶

齊劉豫

至大蒙古書

元武宗

皇慶通寶

元仁宗

泰定元寶

元晉王

致和通寶

元順帝

至順通寶

元宣宗

大朝金合

外國品

天應通寶

安南陳高

太千通寶

不知品

天定五當

不知品

皇和元寶

同

皇和通寶

同

保慶通寶

同

祥興元寶

同

龍定通寶

同

平法元寶

同

大聰至寶

同

貞族通寶

同

命光延寶 同

大福通寶 同

天錢通寶 同

紹祐元寶 同

安康通寶 祥宋手

永治元寶 祥宋手

洪熙通寶 明嘉靖中補鑄

正統通寶 明嘉靖中補鑄

天順通寶 同

成化通寶 同

厭勝品

千秋萬歲 背龍鳳

天下太平 背人形

五男二女

天清豐樂

皇帝萬歲

歸于聖帝

日入千金

辟兵莫當

合門清吉

福壽綠清

福如東海

壽如松柏

壽比南山

出入通泰

照福聖師

壽福山海

嘉定萬壽

花生不老

松柏長生

家保千秋

稱心遂意

普門傳德

風雨調順

前漢韓信

魏騎驥足

封侯并相

將軍黃忠

羅紋 柄文 四五 日月 八星 七夕 鯨文

翅紋 雙十 四神 星月 龍文 雙鳳 福慶

參玖 男二 女鄉

轆轤 雙五 四事 明月 三雀 雙魚

駒錢類

騏驎 白騎 烏騅 金啄 青驪 意馬

盜驪 渠黃 飛黃 泰騎 騷臬 白驥

勇駒 宋騎 楚騎 黃駟 逐日 步恩

右ノ數品ハイマダヨレヲ見ザル者ナリ此外ニ

於テ厭勝品駒錢類種種アリトイヘト七或ハ野
 體ニシテ翫弄スルニ足ザル者多シ古ヘヨリ和
 漢共ニ樂錢ノ類種種アリ其ナカニ愛スベキ者
 アリ愛スルニタラザル者アリ然レトモ是數錢
 ヲ鑑定シテ眼熟スルニアラサレバ是ヲ斷シガ
 タシ日本ニテ樂錢ヲ鑄シコトハ東山慈照相
 公ノ治世ノ時京都六條川原ニテ種種ノ錢ヲ鑄
 サセテ小兒エタマハリシコトアリ是ヨリ後樂
 錢私鑄錢ノ類マ、アリト雖モ其出所知レ難シ

近歲ニ至テハ繪錢名號錢ノ類多ハ谷川ニ鑄ル
 トコロノ作錢ニシテ元來本錢アリテ寫シタル
 ニハアラス新ニ名號ヲ製シ造テ鑄タル者ナレ
 バ其正錢ト稱スル者モ樂錢ナリ然リト雖モ假
 古ノ姦ヲ為ニハアラスモト利ヲ街ノ心ナクシ
 テ鑄タル者ナレバ最賞スベキ者ナリ賈物ハ全
 ク利ヲ街ニ抱ハリテ鑄タル者ナレバ錢質大ニ
 イヤシ翫弄スベキニアラス

宇野宗明カ曰厭勝品漢駒ノ類ハ凡テ漢土ノ兒

童ノ弄^{トモ}モテ^{アツ}物ニシテ本朝ノ福^{フク}一玉ノ類^リ俗^{俗ニ云}ニ云
 ノナゲセ^セ故ニ錢^{セニナリ}質厚ク大形ニシテ文字ノ體^テモ宜^イ
 シカラザル者多シ今見ルトコロ前漢韓信吳將
 孫武ノ二錢全ク和錢ノ福^{フク}一玉ノ類ナルベシ然
 レトモ漢^{カン}錢ニシテ贗^{ニセ}物ニハアラズ又和^ワ錢ノ画^エ
 錢ノ内ニモ兔犬錢玉負駒ノタグイ凡テ錢^チ質ノ
 格別ニ厚キ者ハ皆コレ兒童^{コドモ}ノモテアソブ福^{フク}一
 玉ノ類ナリ然リト雖モ近歲ノ作ニモアラズ古
 代ノ作ニテ銅^{ドウ}質錢體^{テイ}モ古雅^{コガ}ニテ愛^{アイ}スベキアリ

座^サ錢^{ゼン}ニ非スト雖モ贗^{ニセ}物ナラザル者ハ古人^{コジン}モ是
 ヲ賞^{シヤウ}翫^{クワン}セリ今^{イマ}世^セナヲ賞^{シヤウ}スベキナリト
 按スルニ凡テ宗明^{ソウメイ}カ説^{セツ}ノ如ク古^コ錢ヲ愛^{アイ}シ古^コへ
 ヲ嗜^シムモノハ譬^ヘ古^コ錢ニアラズト雖モ古代^{コダイ}ノ銅^{ドウ}
 器^キハスツベキニアラズ其時代ノ銅^{ドウ}色^{シキ}等ノ考^{カウ}合^{カフ}
 ニモナルベキ乎孔方鑑^{コウホウカン}ニ出ストコロノ將^{シヤウ}字^ジ卒^{ソツ}
 字^ジ砲^{ポウ}字^ジ馬^マ字^ジノ類ハ古^コ錢ニハアラズ象^{シヤウ}戲^キノ駒^コナ
 リトイヘリ然レドモ銅^{ドウ}質^{シツ}簡^{カン}古^コニシテ古^コ錢ト共
 ニ愛^{アイ}スベキモノアリ是^{コト}福^{フク}一玉ヲ愛^{アイ}スカ如クス

ツベカラズ又宗明カ續化蝶類苑ニ繪錢樂錢等ノ作者ヲ記セルコト甚委シ今其一ニヲ爰ニ出ス

六條錢

六條錢ハ 東山慈照相公ノ治世ノ時京都六條川原ニテ種種ノ錢ヲ鑄サセテ小兒工タマハリシコトアリ鑄寫ハ其時ノ禁制ニテ様様ノ形ヲ

人々ノ物好ニ任セテ鑄サセ古錢ハワザト文字モ形モ替テコレヲ鑄ルトアリ是ハ多ク厭勝品樂錢ノ類ニテ其形製モ定ラズ然レドモ東山殿時代ノ物ナル故ニ銅質モ甚古雅ニシテ文字錢画錢共ニ賞スルニ絶タリ元禄以後ノ錢トハ同日ノ論ニ非スト云

輪袈裟作

元禄年間新四郎ト云ヘル者ノ作ナリ初ハ禪僧

ナリ故ニ輪袈裟ワツゲサ作ト稱ス後今仲春助ト改名シ
テ大坂高原ニ住シ陶器スモツクリヲ業トス是ハ古錢ニ限
ラズ古画フルエ古筆コヒツ陶器ヤキモノノ類何ニヨラズ似セタリ此
者ノ作ハ唐鏡カラカミヲ潰シテ鑄タル故ニ錢色青ミア
リ錢ノ厚サ中ヲ得テ外輪ミミ内郭アナトモ俱ニ佳ナリ上作
ナリ富山侯ノ好ミニニテ竹ヲ以テ古錢ヲ造リ夕
リ面文背形本錢ト紛ゴフ者ナリト云

升伊作

元禄年中升伊何某ト云ヘル者ノ作ナリ是ハ直ナラ
シ物クサラカシナリ薄ウスキ錢ニテ背ノ外輪ミミ内郭アナ
等最宜シ錢質ゼニナリハ直シ物故ニ種種コレアリ初學
ノ者誤リヤスシ黄キカラカ子ノ者多シト云

谷川作

元禄年中和泉屋與右衛門ト云ヘル者ノ作ナリ
後剃髮テハツシテ西田遠順ト改名ス泉州谷川ニ住ス

故ニ谷川タカハ作ト稱ス此者手跡シユセキヲ能シタリ故ニ錢
 文ミナジヒツ皆自筆ニテ書カキタルモノナレハ古文錢平錢和
 錢等皆同シ筆法ニテ少モ違タカハズ其時代ノ筆意
 曾テコレナシ又昔時ムカシヨリ有來ルノ外自作ニ種
 種ノ錢文ヲ鑄タリ

靈和通寶

通禧通寶

三朝通寶

通達無邊草書

唐將千里背駒

八幡宮錢

滿藏駒錢

大福二神

觀音錢平假名

此外數品アリ勝テ計ガタシ皆新銅アタラシキカネヲ以テ鑄タ

ル故專モツハラ青サビヲ付タリ錢體厚ク濶縁ヒロミニシテ
 内郭アナナハ至テ細シ下作ナリト云

東條作

元祿年中東條屋徳右衛門ト云ヘル者ノ作ナリ
 大坂小谷ニ住ス故ニ小谷作トモ稱ス此作ハ紫
 銅ヲ以テ鑄タル故銅色紫銅多シ青サビハ曾テ
 ナシ後ハ本錢ヲ似セタリ背ノ外輪ミミ内郭等殊ニ
 卑ヒクシ下作ナリト云

與市作

元文年間河内屋與一兵衛ト云ヘル者ノ作ナリ
 此作ハ鎮鑰錢殊ニ宜シ皆本錢ヲ寫シタル者故
 ニ甚迷ヒヤスシ然レトモ大順隆武ノ文字ヲ用
 ユルノ類背ノ形共ニ同シ此者高津新地ノ錢座
 工入コミテ勤メシ者ナル故同志ノ族多クアリ
 初メハ下作ナリシガ後ニハ銅質背形モ甚宜シ
 上作ナリ又大錢小錢共ニ本錢ヲイマダ見サル

者ハ孔方鑑ノ圖ヲ切ヌキテ鑄様工ウツシタリ
 故ニ面背共ニ孔方鑑ノ圖ト毫釐モ違ハズ然レ
 トモ孔方鑑ノ作者中谷顧山ハ予カ朋友ニテ能
 知レリモト繪ヲナスノ心ナキ人故ニ孔方鑑ノ
 人物氣形甚不埒ニテ本錢トハ雲泥ノ相違ナリ
 與市其意ヲワキマヘズシテヒタスラ孔方鑑ノ
 圖ヲ以テ摸セリ故ニ泉體ハ至テ能似セ得ルト
 雖モ人物氣形孔方鑑ノマ、ナル故星官ノ面目
 見ルニタヘズ殊ニ福壽延長太上咒文本命星官

等ノ人物ハ其面顔笑ベキノ至リナリ是其本錢
ヲ知ラズシテ孔方鑑ニ倚ルノ謚ニリ餘ハコレ
ニ准シテ知ルベシ嗚呼孔方鑑ハ誤ヲ記シテ姦
人マタ其誤ニナロフ一盲衆盲ヲ引ノタトヘノ
如シ笑ベキノ甚シキナリト云

近歲作

寶曆明和ヨリ此方ハ贗物ノ製作益々精シク本
錢ト見分カタシ與市作トハ甚勝レタリ近頃紅

毛錢ヲ摸スコト甚能似セタリ然レトモ紅毛ノ
文字ヲ知ラサル故文字ニ至テ蔓草ノ如シ是ヲ
以テ察スベシト云
右ノ真疑ヲ糾スコトハ第一座錢ト樂錢トヲ分
別スベシ厭勝品ニモ座錢アリ平錢ニモ樂錢ア
リ鑪ヲ建テ鑄ルヲ座錢ト云私ニ一錢ヲ鑄ルヲ
樂錢ト云ヘリ又六條錢ノ如ク座ヲ建テ樂錢ヲ
作レハ銅精煉シテ平錢ト異ナラズ然レトモ樂
錢ハ錢形一樣ナラズ正用品ハ錢文正シ爰ヲ以

テコレヲ辨ンズベシト云

鑑定

宇野宗明カ古錢ノ真偽ヲ辨スルノ説ニ座錢ト
 樂錢トヲ分別スルノ意甚親切ナリ誠ニ手ヲ以
 テ引カ如シ予是ヲ感ス然レトモ後世弄錢ノ人
 コレヲ見テコレヲワキマヘズ假古ノ真工モ亦
 コレヲ見テコレヲ用ヒザルハナンソヤ是他ナ

シ其心ヲ用ユルコト薄クコレヲ見ルコト麤ナ
 レバナリ夫古錢ノ真偽ヲ正サントナレハ第一
 本錢ハ和漢トモニ錢座ヲ建テ確一ツニテ數百
 錢ヲ鑄ル是座故ニ錢面平直ニシテ外縁ヨリ内
 郭マテ少シモタリヒツミナク外輪ノ縁急立ナ
 リ贗物ハ一錢二錢ノ銅ヲ化シテコレヲ造ルガ
 故ニ銅ノ子レ宜シカラス錢面不平ニシテ是非
 外輪ニメン出來ルモノナリ或ハ厚薄ヒツミナ
 トアリテ多クハ背ノ輪郭卑ク賤シキモノナリ

又内郭孔ノ内ナトスレ惡キモノナリ又文字ノ如キハ十ヲ姦人其意ヲ知ラス錢文ハ秦漢ヨリコノカタ三國六朝隨ノ世マテハ皆篆書ヲ用ユ唐ヨリ以來ハ五代十國宋遼金元明ヲヨビ僭偽ノ諸國ニ至ルマテ皆真行草篆隸八分楷分楷ノ書等アリトイヘトモ皆其時代其國ノ書體アリテ同シカラズ自然ト別ナリ偽錢ヲ作ルモノ多クコレヲ辨ゼス譬ハ唐ノ錢文ニ宋ノ筆法ヲ用ヒ宋ノ錢文ニ金ノ筆意ヲ以テス甚キハ當時日本ノ俗筆ヲ以テ書タルモノアリ又或ハ文字ヲ削テコレヲ入替タルノ類四字四國ノ文字ニナリタルノ如キハ笑ベキノ一ツナリ又大錢ト小錢トハ文字ノ異ナルコトヲ知ラズ小錢ノ文字ヲヒロケテ大錢ヲ偽リ造ル皆コレ意ヲ用ヒザレバナリ銅色モ亦カクノ如シ其國々ノ銅性ヲ知ラズ書ハ土地ノ人氣ニヨリ銅性ハ土地ノ水ニヨレリ支那ノ地方ヲ考フルニ管子曰齊ノ水ハ道躁ニシテ復故ニ其民貪麤ニシテ勇ヲ好ム

本ノ俗筆ヲ以テ書タルモノアリ又或ハ文字ヲ削テコレヲ入替タルノ類四字四國ノ文字ニナリタルノ如キハ笑ベキノ一ツナリ又大錢ト小錢トハ文字ノ異ナルコトヲ知ラズ小錢ノ文字ヲヒロケテ大錢ヲ偽リ造ル皆コレ意ヲ用ヒザレバナリ銅色モ亦カクノ如シ其國々ノ銅性ヲ知ラズ書ハ土地ノ人氣ニヨリ銅性ハ土地ノ水ニヨレリ支那ノ地方ヲ考フルニ管子曰齊ノ水ハ道躁ニシテ復故ニ其民貪麤ニシテ勇ヲ好ム

楚ノ水ハ淖弱トシテ清シ故ニ其民輕果ニシテ
 賊ナリ越ノ水ハ重濁ニシテ汜故ニ其民愚疾ニ
 シテ垢ツクガ如シ秦ノ水ハ汧最ニシテ稽リ淤
 滯ニシテ雜ル故ニ其民貪戾罔ニシテ事ヲ好ム
 晉ノ水ハ枯旱ニシテ運リ淤滯ニシテ雜ル故ニ
 其民諂諛ニシテ詐ヲ葆シ巧佞ニシテ利ヲ好ム
 燕ノ水ハ下ニ萃テ弱ク沉滯ニシテ雜ル故ニ其
 民愚癡ニシテ貞ヲ好ミ輕疾ニシテ死ヲ易ム宋
 ノ水ハ輕勁ニシテ清シ故ニ其民簡易ニシテ正

ヲ好ムト又五雜組ニ曰新安ハ富多シテ江右ハ
 貧多キ者ハ其地瘠レバナリ新安ノ人ハ雅ニ近
 クシテ稍輕薄ナリ江右ノ人ハ俗ニ近クシテ意
 氣多シ齊人ハ鈍ニシテ機ナラズ楚人ハ機ニシ
 テ浮ナラス吳越ハ浮ニシテ喜テ名ニ近ツク閩
 廣ハ質ニシテ首鼠多シ蜀人ハ巧ニシテ禮ヲ尚
 ブ秦人ハ執鳥ニシテ貪ナラズ晉ハ陋ニシテ實ナ
 リ洛ハ淺ニシテ愿ナリ粵ハ輕ニシテ獷シ滇ハ
 夷ニシテ華ナリ其醇疵美惡ヲ惡スルニ大約相

當ル蓋シ五方ノ性天地トイヘトモ齊ウスルコ
ト能ワス聖人トイヘドモ強ルコト能ワズト是
ヲ以テ考フルニ其氣性皆カクノ如シ開元錢ノ
背文各其郡名アリ大中洪武ノ背文マタ郡名ヲ
鑄ル千餘歳ヲフルトイヘトモ其國ノ人性銅性
相似タルトコロアリ燕京ノ錢ハ銅色黒クキタ
ナシ山東ノ錢ハ銅色美ニシテ文字ノロシ南京
浙江ノ錢ハ銅色白ク文字キレイナリ福建モ南
京浙江ニ相類シテ福建ハ文字浙江ニヲヨバズ

少シク湖廣ニヨレリ湖廣ハ銅色紫赤ニシテ文
字甚ブキヨウニシテ正シカラズ河南ハ銅色黒
クシテ美ナリ山西ハ銅色黒濁ニシテ北京ヨリ
キレイナリ陝西ハ黒青ニシテ紫色ヲ帶タリ蜀
ハ陝西ニ似テ少シ異ナリ陝西ハキレイニヨハ
ク四川ハドンニシテツヨシ又青白ナル者アリ
トイヘトモ紫黒ヲノガレサルコトアリ是等ノ
分ハ開元錢背文福ノ字アルモノハ大中洪武ノ
福字アルモノトヲ以テ知ルベシ其餘ノ背文鄂

泉貨記卷一
長一
一

廣潭洪ノ類皆其フウゾクンゼンニ考ヘ合スベ
 シ然レトモ數錢ヲ以テコレヲ鑑定スルニアラ
 ガレハ辨シカタシ其ヲム子ヲ説カハ張士誠
 ハ姑蘇ニヨツテ國ヲ立テ吳越ノ地ヲ領シソノ
 富饒ナルヲ以テ足レリトス故ニ天佑錢ノ製作
 最モ工ニシテ背文或ハ篆文ヲ以テシ大中義
 ノ風ニ比スレバ文字美ニシテ形製侈ナリ是吳
 越ノ地ハ浮ニシテ喜テ名ニ近ツクノ意自カラ
 明^{アキ}ラカナリ陳友諒ハ武昌ニ居シテ湖廣ニヨル

故ニ大義ノ錢質微重ニシテ文字ツヨク其製實
 ナリ是楚人ハ機ニシテ浮ナラズト云ノ意ナリ
 其アジハイ自カラ錢面ニアラハル天佑錢ハ洪
 武ノ浙ノ字ニ類シテ浙ヨリモ製作精シク銅色
 白黄共ニ美ナリ大義ハ洪武ノ背文廣ノ字アル
 者ニ相似テ銅色紫赤ニシテ黒ミヲ帶タリ大體
 是等ノ風俗ヲ以テ考フベシ一々コレヲ説ニイ
 トマアラス只一錢ヲ得トモコレノ廉ニ見ルベ
 カラズ心ヲツクシテコレヲ鑑定スベシカクノ

如クナルトキハ若クハ誤^{アヤ}リ少カラシ乎然トモ
 近^{ニセモ}歲ノ贖物ハ至テクハシクナカンヅク漆^{ウレシ}ヲ以
 テ其面文ヲ造^{ツク}ルモノアリ甚見分カタシ予總角
 ノ時ヨリ古錢ヲ弄^{モテアソビ}シテアマ子ク心ヲ用テコレ
 ヲ見ルトイヘトモヤ、モスレハコレヲ誤ラン
 トス天明ノ頃予カツテ至元通寶錢ヲ得タリ此
 錢^{ウレシ}漆ヲ以テ面文ヲ造リナス小カヲ以テ其面文
 ヲ削レバ至元ノ文字落テ正隆元寶ノ四字分明
 ニアラハル又近頃金ノ貞祐通寶ヲ見ル是モ亦

面文ヲ漆ニテ造レリ其文字淳祐通寶ニナラフ
 ソレ金ハ江ヲ界^{ササ}テ北ヲ領シ宋ハ南ヲ領セリナ
 ズ南宋ノ錢風ニナラツテ北方ノ錢ヲ造ルヤ
 是等ノ如キハ其地理ヲ知ラザレバ笑ベキノ一
 ツナリ

鑄錢

天工開物ニ曰凡銅ヲ鑄テ錢トナス以テ民用ヲ

利ス一画國號通寶ノ四字ヲ刊ス工部分司コレ
 ヲ主ル凡錢利ヲ通スル者十文ヲ以テ銀一分ニ
 抵其大錢ハ當五當十二值ル其弊私鑄ニ便ニシ
 テ及テ以テ害アリ故ニ中外行レテ輒チ行レサ
 ルナリ凡錢ヲ鑄ルハ十斤毎ニ紅銅六七ヲ居ル
 倭鉛四三ヲ居ル此等ノ分大畧倭鉛烈火ヲ見ル
 コトニ必四分ノ一ヲ耗ス我朝ノ行用錢高色ナ
 ル者ハ唯北京ノ寶源局ノ黃錢ト高州爐ノ青錢
 トハ其價ヒ一文カ南直江浙等ノ二文ニ敵ス黃

錢又二等ニ分ツ四タビ火ヲ返シテ鑄ルトコロ
 ヲ金背錢ト云ニタビ火ヲ返シテ鑄ルトコロヲ
 火漆錢ト云凡錢ヲ鑄ル鎔銅ノ確ハ絶細ノ土ノ
 末ヲ以テ炭ノ末ニ和テコレヲ爲ス確ヲハカル
 ニ十兩十ラバ土七ヲ居テ炭三ヲ居ルナリ炭灰
 ハ性煖ニシテ土ヲタスケテ以テ物ヲ化シ易カ
 ラシム確ノ長サ八寸口ノ徑リ二寸五分一ノ確
 ハ約ルニ銅ト鉛ト十斤ヲ載ル銅ノ先ニ入テ然
 シテ後ニ鉛ヲマタ投入テ洪爐扇合シテ摸ノ内

二傾ケ入ル凡錢ヲ鑄ルノ換ハ木四條ヲ以テ空
 匡ヲナス木長サ一尺一寸土炭ノ末ヲフルウテ極テ
 細ナラシメ匡ノ中ニ填實シ杉ノ木ノ炭灰力或
 ハ柳ノ木ノ炭灰ヲスコシク其面上ニ洒グ或ハ
 換ヲ熏ズルニハ則チ松香ト清油トヲ用ユ然シ
 テ後ニ母錢百文ヲ以テ母錢ハ錫ヲ用テ彫ナスリ或ハ背ノ方其
 上ニ布置テ又一ノ匡ヲ用ヒテ前ノ法ノ如クニ
 填實シコレヲ合セ蓋シ既ニコレヲ合スルノ後
 ヲノレト面背ヲナス兩匡ヲ手ニ隨テ覆轉セハ

則チ母錢盡ク後ノ匡ノ上ニ落又一ノ匡ヲ用ヒ
 テ填實ニシテ上ノ後ノ匡ニ合セ是ノ如クニ覆
 轉シテ十餘匡ヲ合セテ然テ後ニ繩ヲ以テク、
 リツケ其木ノ匡ノ上ヲ弦モトヨリ入銅眼孔ヲ
 ヨク留テ鑄工鷹嘴鉗ヲ以テ洪爐ヨリ鎔ノ確ヲ
 提イダシ一人別ノ鉗ヲ以テタスケタスケテ確
 ノ底ヲ相助ケ逐一ニ孔ノ中ニ傾ケ入ル冷定テ
 繩ヲトキ匡ヲヒラケバ磊落トシテ百文ノ錢花
 ヤ菓ノ枝ニ附ガ如ク摸ノ中ニツケタルミゾニ

ウマリタル銅樹枝様ノ如シ是ヲハサミイタシ
 テ逐一ニ摘斷テ鏝ニテ磨テ以テ錢トナス凡錢
 先邊沿ヲ錯キリ竹木ノ條ヲ以テ直ニ數百文ヲ
 貫キ鏝ヲ受テ後ニ平面ヲ鏝ニテスルヤリ則チ
 逐一カクノ如クニス凡錢ノ高低ハ鉛ノ多ト寡
 ヲ以テ分ツベシ其厚重ト薄削ト則チアキラカ
 ニ見ヤスシ鉛ハ賤ク銅ハ貴シ私鑄ノ者ハ對半
 ニシテコレヲ爲ニ至ルコレヲ以テ楷石ノ上ニ
 擲レハ聲木石ノ如キ者ハ此低錢ナリ高錢ノコ

トキハ銅九鉛一ツナリ地ニ擲テモ金ノ聲ヲナ
 ス凡廢銅ヲナシテ錢ヲ鑄レバ火ゴトニ十ニ其
 一ヲヘラス蓋鉛質先走テ其銅色漸ニ高シ新銅
 ノ初テ化スル者ニ勝レリ鑄錢ノ圖

銅色考

按スルニ銅色ハ其地方ノ水土ニヨルトイヘ氏

卷之二
 二十一

或ハ火ニ焼レ或ハ水ニ腐リ或ハ土ニ鑽テ變ス
 ルモノアリ又其始ノ確ノ内ヨリ銅ノ和雜ニヨ
 ツテ其色ヲ變スルモノアリ凡古錢ハ深黃銅ナ
 ルモノヲ以テ上品トス紫黑色ナルモノコレニ
 次青黑色ナルモノ青白銅ナルモノヲ中トス灰
 白色ナルモノ素銅ノモノヲ下品トス其變スル
 モノハ凡深黃銅ノモノハ變シテ青白銅トナル
 紫黑色青黑色ナルモノハ深黃銅ノ鑽ナリ純赤
 ナルモノハ紫黑色ノ替リナリ又紫黒銅ノ和シ

宜シカラス黒澁ノ多キモノハ銅色黒濁ニ變ス
 ル也青白色ナルモノハ白銅ノサヒナリ灰白色
 ナルモノハ銅少クシテ鉛多ケレハナリ赤銅錢
 ハ亜鉛ノ和シ宜シカラス鉛マヅナガレテ素銅
 ニ替リタルモノナリ此錢多ク眞鍮錢ヨリイツ
 前ニ云純赤ナルモノトハ異ナリ又灰白色ニシ
 テ銅色ヲ帶タルモノアリ是ハ眞鍮ノ自然ノ銅
 色ニシテ亜鉛ノ入ラサルモノナリ天啓崇禎ニ
 此類多シ甚下品ナルモノナリコレ明史崇禎ノ

條下ニ云大半鉛砂ヲ雜ユルモノ、類ナルヘシ
凡古錢山中赭土ノウチニ存スルモノハ鐵サビ
多ク泥中水地ニ入ルモノハ灰白色多シ壺中石
櫃ノ中ニ納ムルモノハ貴蹟アリ是ヲ以テ其
大躰ヲ考フベシ近頃大姦ノ真工古錢ノ銅質厚
キ者ヲ以テ其面ヲスリテ得ガタキ錢ノ面文ヲ
彫ナシテ土中ニ入ルコトワツカニ七八日ヲ過
ズシテコレヲイタスニ千歲ノ古ヒヲ見ルカ如
シ然レモ是ヲ考フルニ其泥土若ク山中ニ非ス

泥中ニ非ス壺中ニ非ス考ヘ合スベキモノナキ
古ビナリ爰ヲ以テコレヲ辨ニスベキナリ予寛
政ノ始開元ノ大錢ヲ見ル其製作甚巧ニナリ此
錢ハ和同猿駝ヲスリテコレヲ彫スリミガキテ
地中ニウツムルコト六十餘日ニシテイダセリ
ト云然レモ姦工開元ノ大錢ヲイマダ見サレバ
小平錢ノ文字ヲヒロケテ大錢トナシタリ故ニ
其面文小錢ノ風ニシテ大錢ノ筆意ニアラスナ
カンツク寶ノ字宜シカラスシテ見ルニタヘス

泉貨統論 卷二 二一四

トテ其寶ノ字ヲ破リカキタリト云ヘリ嗚呼カ
 ナシイカナ弄泉家其鑑定委シトイヘ氏コレヲ
 辨スルコトアタハサルハ大姦ノ真工其妙作ナ
 ルコト弄泉家ノ鑑定ニマサレバナリ

數法

侯鯖録ニ曰古ヨリ錢ヲ用ユルコト千文ヲ以テ
 一貫トス梁ノ武帝ノ時破嶺ヨリ東ノ方ハ八十
 ヲ以テ百トス是ヲ東錢ト名ツク紅郢ヨリ上ツ
 方ハ七十ヲ以テ百トス西錢ト名ヅク京師ハ九
 十ヲ以テ百トス長錢ト名ツク唐ノ明宗ノ時京
 師ハ八百五十ヲ以テ一貫トス 筆談ニ曰漢ノ
 隱帝ノ時三司使王章官錢ヲ出スコトニ七十七
 ヲ以テ百トス省百ト云此法五代漢ヨリ始ル

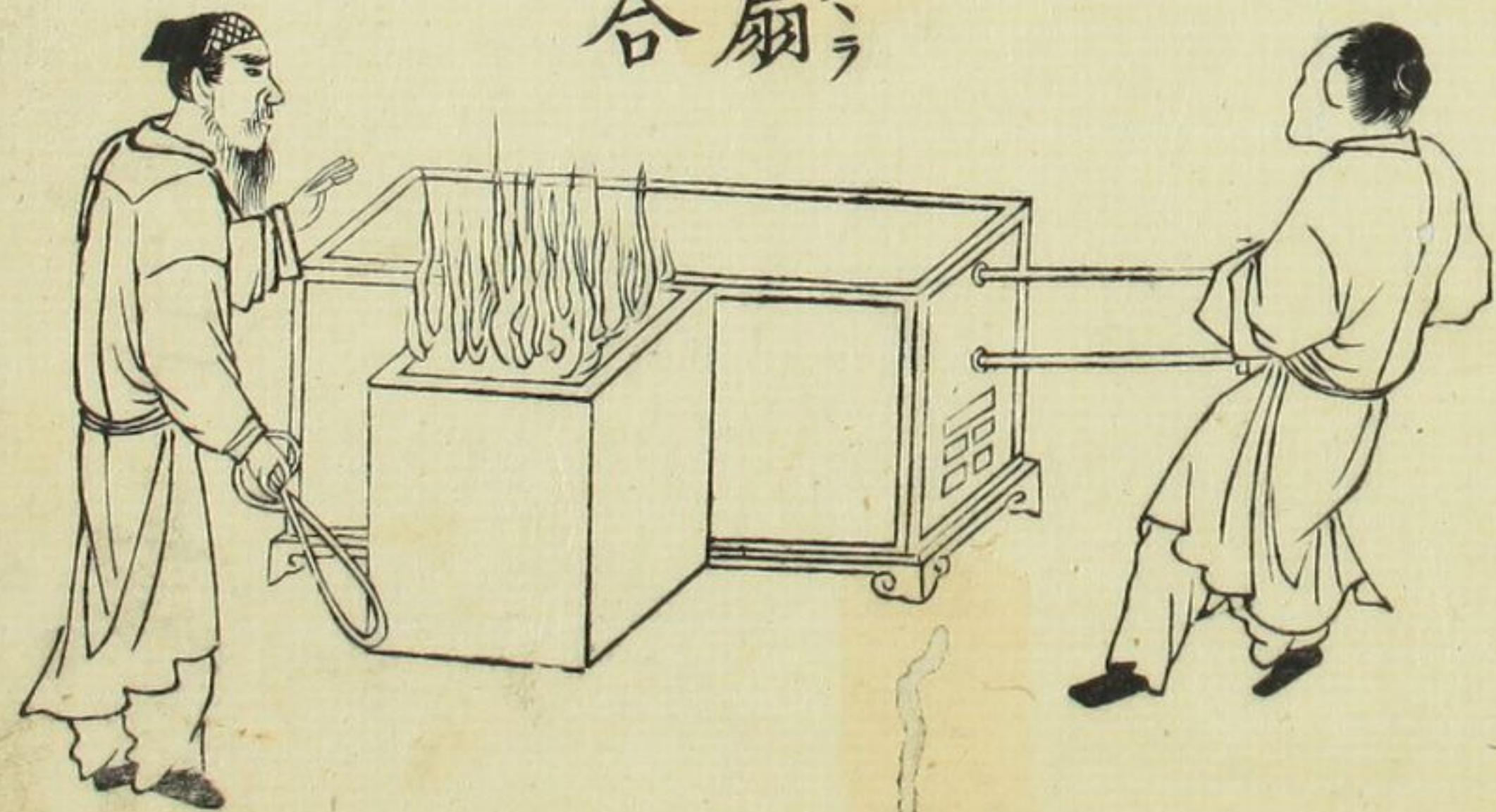
日本ニ錢九十六文ヲ以テ百ト爲コトハ上杉憲
 政ノ家老長尾意玄制ヲ立シヨリ始ル長尾カ曰
 敵國ニ入トキ町人地下人ニゲチリ其所ニ居サ
 ルニハ小身ノ中間少シノ物ヲ買ベキヨウナシ
 然レトモ豊ナル世ニハ掛滿アルコト長久ノ政
 ナレハ代物ダイモツヲ九十六文ニシテ四文宛ツカケミチ
 三十二文ツ、三ツニ分テ又三十二文ヲ四ツニ
 分レハ八文ニナルナリカクテハ錢ノツカイヨ
 ウ宜シトテ九十六文ヲ以テ百トシ九百六十ヲ

一貫ト定ムベシトテ是ヨリ今ニ至ルマテ九十
 六文ヲ以テ百トスルコト日本國中エヲシヒロ
 マリタリ然レトモ今ニモ千文ヲ一貫トナス所
 モアリトイヘリ按スルニ四文ヲ掛滿カケミチテツカイ
 ヨシトイヘルハ關東ニテハ永樂ヲ用ヒ永樂錢
 一文ヲ以テ鑿錢ドマ四文ニツカイシ故四文ツ、カ
 ケミチスルコト永樂ノツカイヨキタメナルベ
 シツノカミ大錢ヲ鑄テ十文ニ用ユトイヘ氏便
 ナラズシテツイニコレヲ停止ス是大錢八十ヲ

洪爐之圖



扇合



泉貨鑑卷之十八終

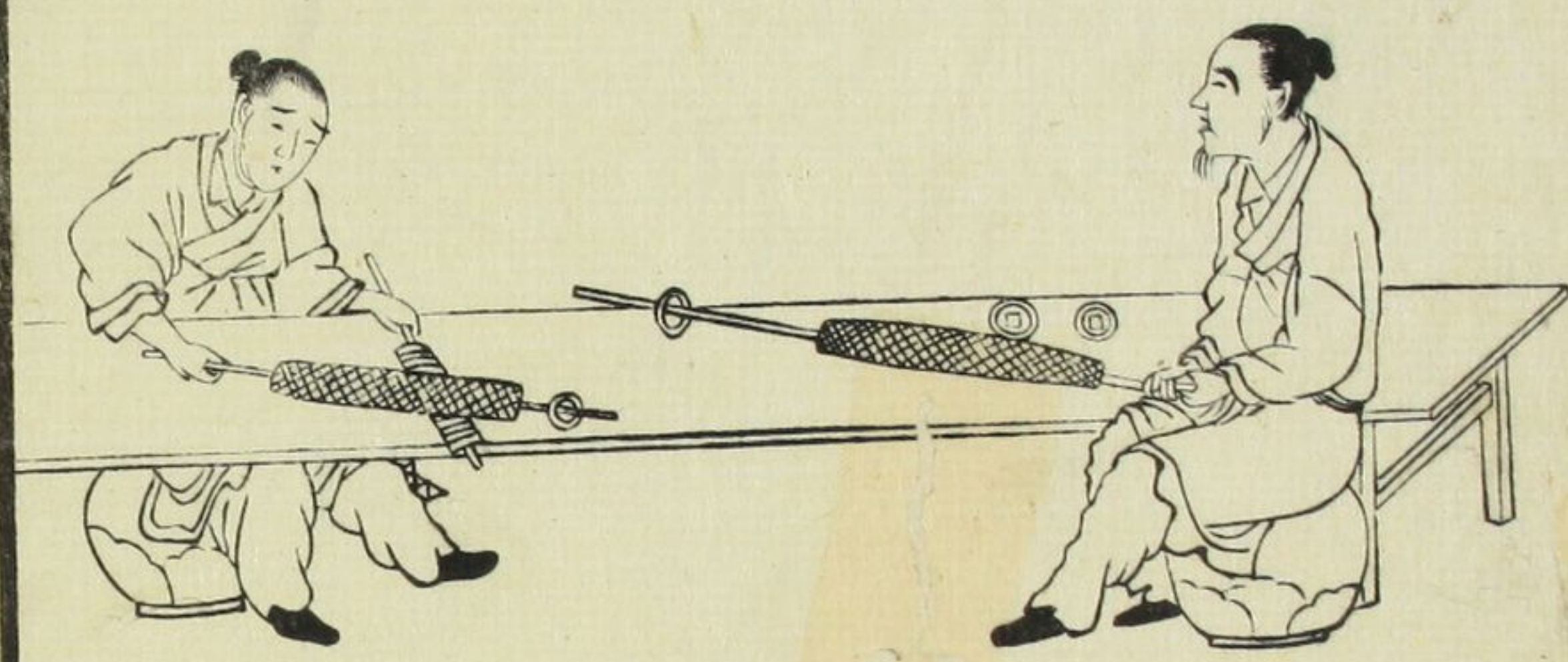
以テシ小錢ハ八ヲ以テスル故ナリ近歲又波文
 錢ヲ鑄テ一文ヲ以テ四文ニ用ユ上下甚便ナリ
 トス是四文ノ數ニカナヘバナリ



鑄錢之圖



錕錢之圖



造銀錢之圖

